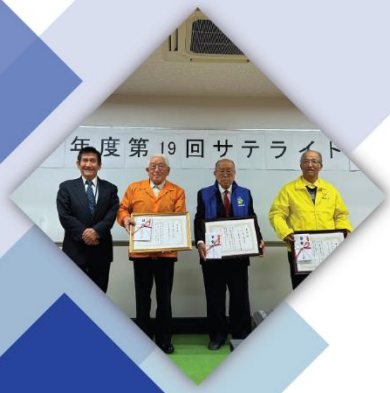
わたしたちはこんな活動を行っています

道の駅 阿蘇



令和6年
4月版

NPO 法人 ASO 田園空間博物館

ASO田園空間博物館とは

活動理念

阿蘇に関わる多くの人々と共に地域資源を活用しながら、文化的、経済的に阿蘇市の地域活性化を行う。

活動目標

- 交流人口の拡大
- 「農業」と「観光」を結び付けた地域経済の活性化
- 阿蘇の魅力の情報発信

ASO田園空間博物館(道の駅阿蘇)について

特有の自然環境を形成する阿蘇地域は、「農業」と「観光」が基幹産業となり地域を支えてきましたが、近年は高齢化、伝統文化・技術の途絶、観光客の減少が大きな課題となっています。

また、これまでのように農業分野のみ、観光分野のみの対策では行き詰まりもみせています。

そのため、「農業」と「観光」をリンクさせ、地域活性化を通じて地域住民が経済的かつ精神的に豊かに暮らすことができる社会の実現に向けた取り組みが地域に求められてきました。

そこで創設されたのがNPO法人ASO田園空間博物館(道の駅阿蘇)です。

ASO田園空間博物館とは

～ 阿蘇の魅力が発見できる「屋根のない博物館」～

ASO田園空間博物館とは、地域全体を屋根のない大きな博物館に見立て、地域住民が選んだ有形・無形の地域資源(サテライト)を展示物とし、それらを活用することで、地域の持つ自然、景観、歴史、文化を地域内外の多くの人に伝え、体感していただき、次世代に継承していく取り組みです。

道の駅「阿蘇」(総合案内所)[コア施設]

田園空間博物館の情報発信・交流・経済活動の拠点基地として、各地域の情報を集め発信していく施設

地域資源(サテライト)

阿蘇市の自然、伝統、文化、生業、ひとなど、 くらしの中で生まれてきた田園空間を形成する有形・無形の地域の魅力

ASO田園空間博物館・道の駅「阿蘇」のあゆみ

平成11年	旧阿蘇町が農水省の田園空間整備事業に採択される。地域住民を主体とした取り組みが始まる。
平成16年12月	ASO田園空間博物館準備会を設立。
平成17年2月11日	町村合併により阿蘇市誕生。活動範囲が旧一の宮町、旧波野村まで広がる。
平成17年4月17日	住民主体による任意団体ASO田園空間博物館を設立。
平成17年4月23日	ASO田園空間博物館総合案内所（コア施設）をJR阿蘇駅前に落成。
平成18年	地域住民を主体とした地域づくりへの取り組みが活発となる。
平成18年8月3日	NPO法人ASO田園空間博物館となる。
平成19年3月	全国水土里ネットにて「農林水産大臣賞」を受賞。
平成20年6月1日	道の駅「阿蘇」がオープン。総合案内所への来館者が増加。
平成24年4月	阿蘇市からASO田園空間博物館総合案内所の指定管理を受ける。 九州じゃらん「九州・山口道の駅ﾗﾝｷﾝｸﾞ」で情報提供部門1位、テイクアウトグルメ部門2位、総合6位となる。
平成25年7月	九州・沖縄道の駅連絡会にて九州沖縄「道の駅」最優秀賞受賞。
平成25年12月	日産エコカー普及事業にて県内道の駅で唯一電気自動車リーフの寄贈を受ける。
平成27年3月	日本政府観光局より、外国人観光案内所カテゴリー2の認定を受ける。
平成27年7月	道の駅阿蘇館内にASOプレミアムコーナーと特産品コンシェルジュが誕生。
平成28年1月27日	国土交通省より「重点道の駅」に選定される。
平成28年4月	熊本地震発生。阿蘇地域が多大な被害を受ける。
平成28年7月	九州・沖縄道の駅連絡会より、熊本地震後に支援物資や情報発信などを通じ復興に向けた主導的役割を果たしたとして表彰を受ける。
平成29年11月	内閣官房・農林水産省「第4回ディスカバー農山漁村(むら)の宝」グランプリ受賞
平成30年9月	道の駅阿蘇　来館者数1,000万人達成
平成30年9月	トリップアドバイザー「旅好きの口コミで選ぶ！道の駅ランキング2018」で全国5位
平成31年2月	農林水産省・全国地産地消推進協議会主催「平成30年度地産地消等優良活動表彰」九州農政局長賞受賞
令和元年12月	国土交通省「第34回手づくり郷土(ふるさと)賞」一般部門受賞
令和2年8月	第2駐車場と屋外24時間トイレ・情報コーナーが新設される。
令和2年12月	「JAF会員が選ぶ！イチオシ道の駅グランプリ2020」九州1位受賞　熊本県1位（5回連続受賞）
令和3年11月	スポーツ文化ツーリズムアワード2021スポーツツーリズム賞受賞
令和3年12月	「JAF会員が選ぶ！イチオシ道の駅グランプリ2021」熊本県1位受賞（6回連続受賞）
令和4年12月	「JAF会員が選ぶ！九州・沖縄イチオシ道の駅グランプリ2022」特産品部門第2位　グルメ部門第2位　熊本県1位（7回連続受賞）
令和5年12月	「JAF会員が選ぶ！九州・沖縄イチオシ道の駅グランプリ2023」グルメ・設備・絶景映えスポット　熊本県1位（8回連続受賞）

受賞歴

- 平成19年　「農林水産大臣賞」
- 平成25年　「九州・沖縄『道の駅』最優秀賞」
- 平成27年　トリップアドバイザー「2015年エクセレンス認証」
- 平成28年　国交省「重点道の駅」選定（地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できる道の駅）
- 平成28年　「九州・沖縄『道の駅』最優秀賞」
- 平成29年　「2016年度JAF会員が選ぶ！イチオシ道の駅」熊本県1位(2回連続)
- 平成29年　トリップアドバイザー「旅好きの口コミで選ぶ！道の駅ランキング」全国9位
- 平成29年　トリップアドバイザー「2017年エクセレンス認証」
- 平成29年　内閣官房・農水省「第4回ディスカバー農山漁村の宝」グランプリ
- 平成30年　トリップアドバイザー「旅好きの口コミで選ぶ！道の駅ランキング」全国５位
- 平成30年　トリップアドバイザー「2018年エクセレンス認証」
- 平成30年　「2017年度JAF会員が選ぶ！イチオシ道の駅」熊本県1位(3回連続)
- 平成31年　農林水産省・全国地産地消推進協議会主催「平成30年度地産地消等優良活動表彰」九州農政局長賞
- 令和元年　国交省「第34回手づくり郷土(ふるさと)賞」一般部門
- 令和2年　「日本地域情報コンテンツ大賞2020」web部門最優秀賞
- 令和2年　「JAF会員が選ぶ！イチオシ道の駅2020」九州1位、熊本県1位(5回連続)
- 令和3年　阿蘇草原再生協議会特別賞「イオン九州賞」
- 令和３年　スポーツ文化ツーリズムアワード2021「スポーツツーリズム賞」
- 令和４年　「JAF会員が選ぶ！イチオシ道の駅2022」特産品部門第２位 グルメ部門第２位 熊本県１位（熊本県１位は７回連続）
- 令和５年　ジャパンツーリズムアワード2023入賞
- 令和５年　「JAF会員が選ぶ！イチオシ道の駅2023」　熊本県１位（8回連続）

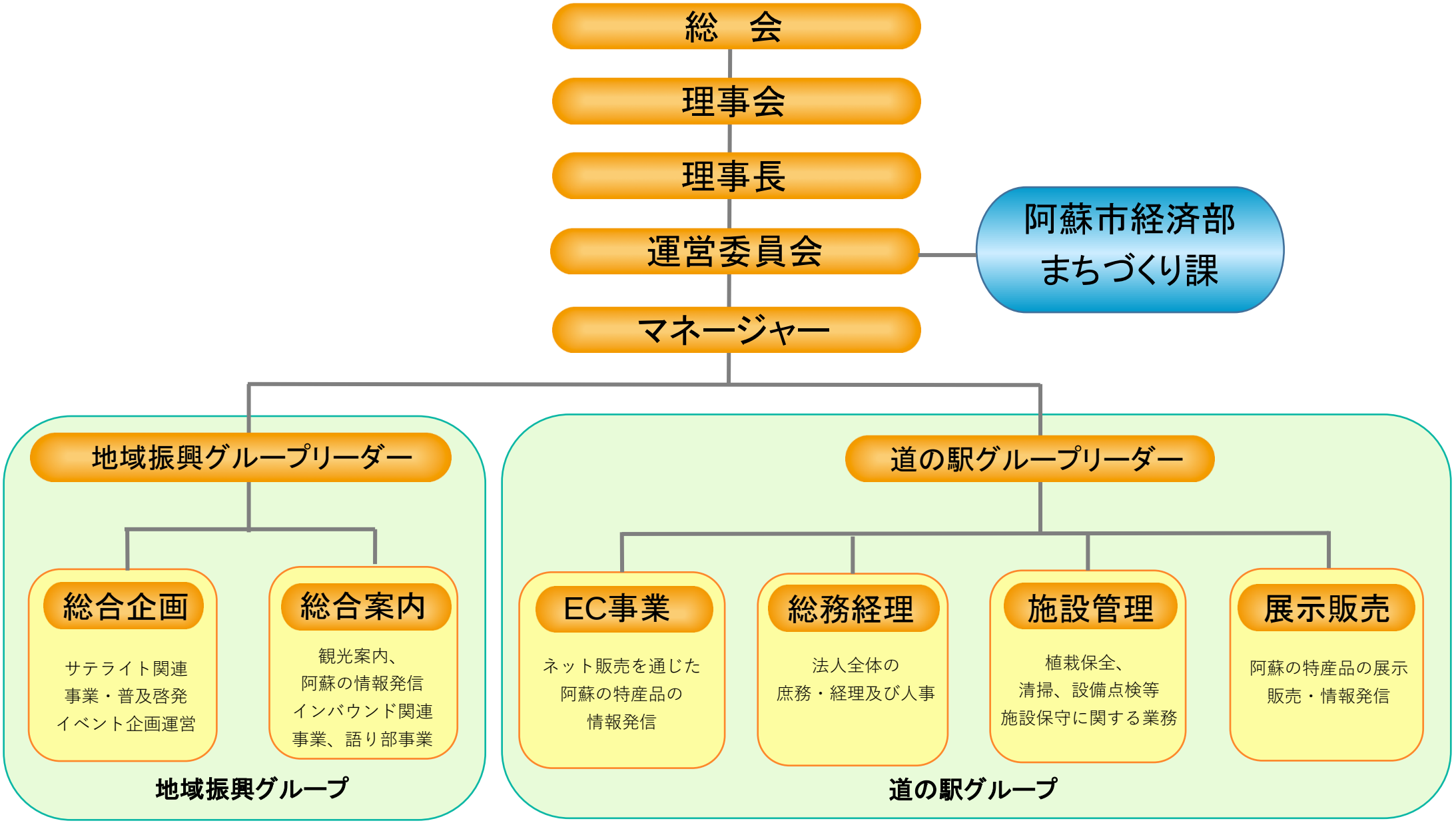
第4回ディスカバー農山漁村(むら)の宝グランプリ受賞

平成29年11月、海外客増加や特産品開発・販売など地域の活性化に貢献したとして、内閣府及び農水省共催の「第4回ディスカバー農山漁村(むら)の宝」において、全国844件もの応募の中から栄えある最優秀賞「グランプリ」に選ばれました。

平成29年11月22日
『第4回ディスカバー農山漁村（むら）の宝』グランプリ受賞

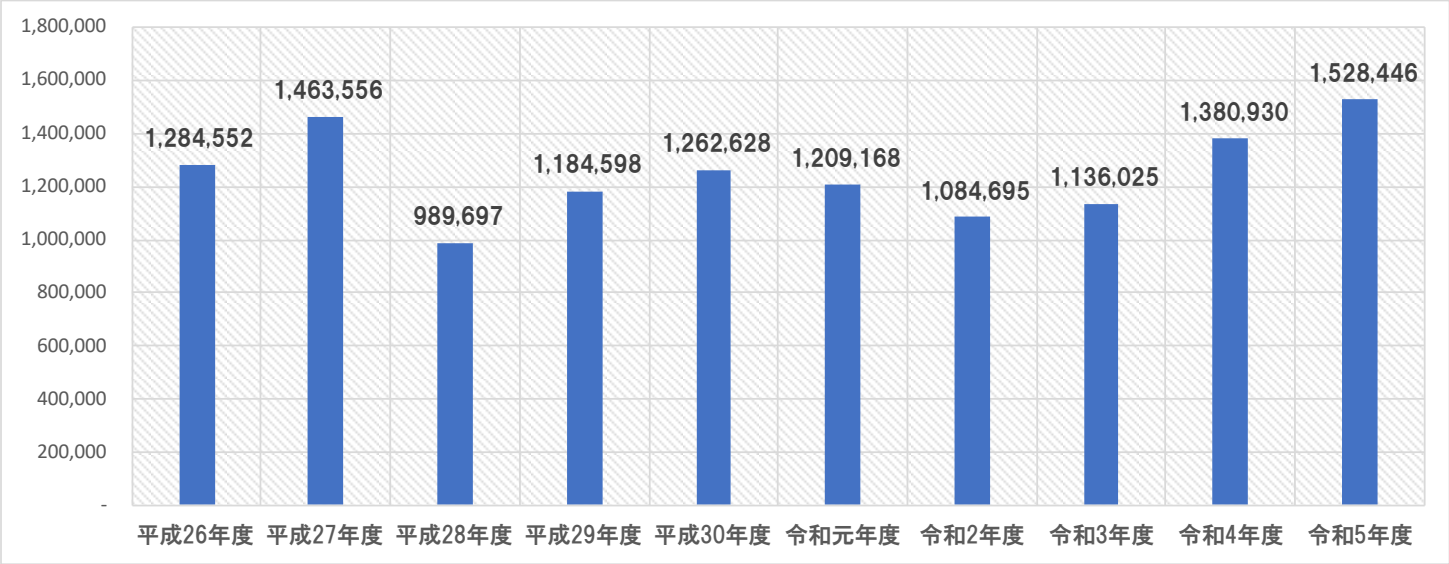
平成30年3月、中国で開催された「大連ジャパンブランド2018」では、農水省のブースにて阿蘇のPRを行いました。

NPO法人 ASO田園空間博物館運営組織図



道の駅「阿蘇」来館者の推移

(人)



令和5年度の来館者数
1,528,446人
日本人窓口問い合わせ人数
19,127人
外国人窓口問い合わせ人数
4,864人

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
4月	102,813	100,941	69,561	98,292	111,981	110,280	45,873	102,963	105,306	120,081
5月	139,965	151,029	61,650	129,240	128,583	131,829	57,594	97,797	145,113	153,693
6月	87,567	95,520	54,759	83,331	91,332	83,163	56,751	73,830	93,342	101,376
7月	103,728	121,977	86,424	93,747	97,671	89,259	61,017	99,882	107,835	112,437
8月	160,611	178,080	124,131	135,486	149,844	133,818	113,868	95,337	146,094	153,075
9月	135,861	147,426	102,678	107,025	116,382	110,928	94,131	100,416	110,289	135,795
10月	122,250	138,885	91,992	107,409	120,738	117,945	162,399	118,557	139,158	149,721
11月	128,262	130,659	92,925	112,152	116,505	112,335	149,298	116,406	135,933	144,402
12月	63,864	96,870	75,486	74,622	76,710	79,587	93,759	90,738	96,477	102,882
1月	70,827	90,336	69,078	72,918	80,574	85,209	68,442	81,729	89,370	112,410
2月	65,286	84,939	60,612	61,371	69,123	71,706	70,674	60,171	87,609	104,130
3月	103,518	126,894	100,401	109,005	103,185	83,109	110,889	98,199	124,404	138,444

道の駅「阿蘇」・ASO田園空間博物館の主な取り組み

1.阿蘇市の地域づくり

2.阿蘇の特産品の展示販売

3.観光案内と情報発信

4.施設の維持管理

「阿蘇市の地域づくり」の主な取り組み

1-1 サテライトの発掘

1-2 サテライト協議会（地域住民との連携）

1-3 阿蘇市をさるこう！（地域散策イベント）

1-4 サテライト支援（地域活動の応援・マップ看板製作等）

1-5 情報誌の製作

1-6 ASO国際交流事業

「阿蘇市の地域づくり」の主な取り組み

1- 7熊本地震語り部・道の駅阿蘇視察事業

1-8 ASO周遊推進支援事業（とことん満喫！阿蘇サイクリング）

1-9 牧野ガイド事業

1-10 #asocosプロジェクト

1-11 インバウンド誘致プログラム

1-1 サテライトの発掘

サテライトとは？

サテライト(地域資源・オススメスポット)

阿蘇市にある自然・歴史・文化・ひとなど、くらしの中で生まれてきた

有形・無形の地域資源のことを「サテライト」とよんでいます。

これらサテライトは実際にそれらを守っている地域の方々に

よって選ばれたものです。

ASO田園空間博物館はこのサテライトを次世代に継承していくため、

地域の方々と協力しながら様々な取り組みを行っています。

サテライトとは？

自然系サテライト

［サテライトNo.2］阿蘇中岳火口

現在も活発な活動を続ける中岳火口。そのダイナミックな光景に人々は魅了されます。
地元の人々にとっては古来より信仰の対象でもあります。

サテライトとは？

自然系サテライト

［サテライトNo.88］　碧水ホタルの里

碧水ホタルの里のメンバー

ホタルの幼虫放流のようす

ダイナミックな自然だけでなく、地域住民が守り続けている水辺も貴重な地域資源です。
阿蘇市北黒川地区にはホタルが生息する河川があり、地域の有志がホタルの養殖やホタルツアーの開催、環境整備に取り組んでいます。

サテライトとは？

歴史系サテライト

［サテライトNo.51］阿蘇神社

【H28年震災前】

【H28年震災後】

二千年の歴史を誇る古社で、見事な楼門は日本三大楼門の1つとされていましたが、平成28年4月の熊本地震で倒壊してしまいました。現在は再建に向けて動いています。
火振り神事やおんだ祭りなど年間を通して行われる神事は全国的にも有名です。

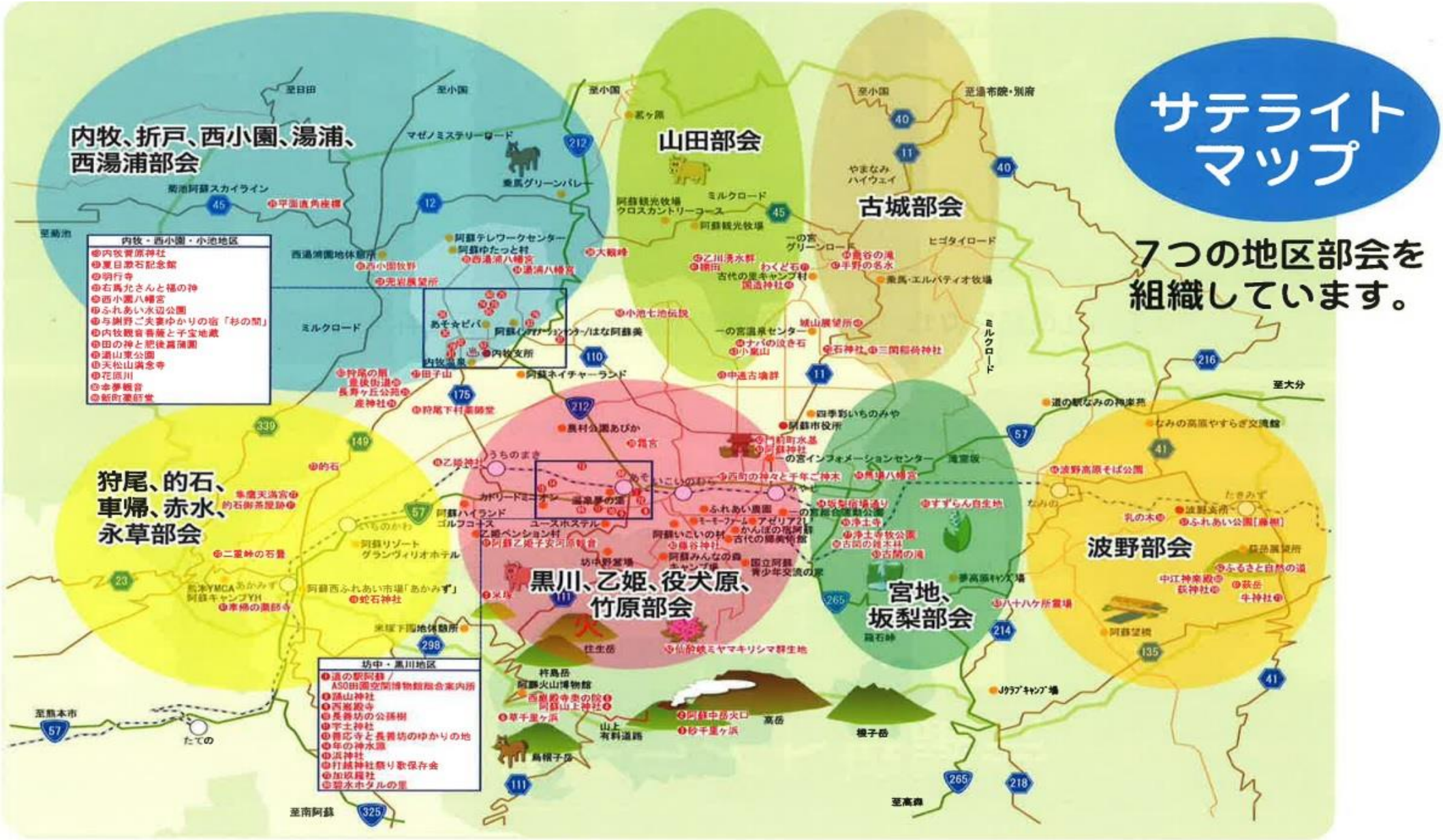
サテライトとは？

文化系サテライト

［サテライトNo.60］中江神楽殿

中江岩戸神楽は国選択無形民俗文化財に指定されています。
地元の保存会によって受け継がれている阿蘇の民俗芸能です。

ASO田園空間博物館 サテライト98ヶ所



1-2 サテライト協議会

98ヶ所あるサテライトの代表者で構成する協議会です。
7つの地区部会とその役員で組織する役員会があります。(平成23年9月発足)

目的

- サテライト間の交流を深め、互いが協力しながら地域を盛り上げていく。
- サテライト(≒地域住民)の想いをASO田園空間博物館がより把握できるようにするため。

協議会を通じてサテライトに関する各種事業を連携しながら進めています。

サテライト応援事業

案内人研修会

サテライト協議会各種会議

1-3 地域散策イベント「阿蘇市をさるこう！」

交流人口の拡大や知られざる阿蘇の魅力の紹介、地域コミュニティの維持を目的として実施しています。
現在、実施回数は第229回を数えております。（R6.2.29現在）

受け入れ先の住民が主体となって計画

地域住民が案内

郷土料理のふるまい

心温まるおもてなし

収穫体験、手作り体験など阿蘇ならではの体験

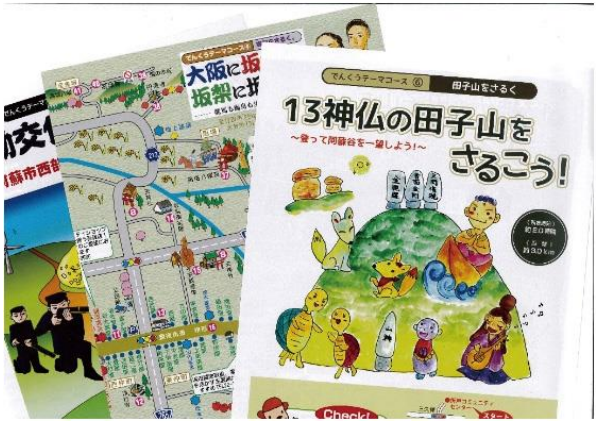
1-4 サテライト支援（地域活動の応援）

地域活性化に向けて取り組んでいるサテライトを応援するため、整備・清掃活動のサポートや案内看板、地域散策マップの製作などを行っています。

また、精力的な活動を行っているサテライトへ「阿蘇づくり大賞」を授与するなど、各地域の活動を盛り上げる仕組みづくりも行っています。

整備・清掃活動のサポート

「阿蘇づくり大賞」の決定



地域散策マップの製作

案内看板の製作

1-5 フリーペーパー（情報誌）の製作

阿蘇の観光PRにつなげるため、観光情報・サテライトや地域団体の取り組み・特産品の紹介など様々な阿蘇の情報を情報誌にまとめて発信しています。

平成25年度より
季刊誌として発行

1-6 ASO国際交流事業

平成26年度より、熊本市国際交流会館と連携し「ASO国際交流事業」をスタートさせました。

この事業は、留学生に阿蘇で様々な体験をしてもらい、その魅力をSNSや口コミを通じて母国の家族、友人、知人に紹介してもらうことを目的としています。

当事業の一環として、留学生を対象とした地域散策イベントを定期的に開催しており、地域住民との交流促進にもつながると好評を得ています。

婦人会手作りの昼食

地域住民との田植え体験

地域散策の様子

1-7 熊本地震語り部・道の駅阿蘇視察事業

平成28年4月に発生した熊本地震の経験を語り継ぎ、各地の防災につなげていくことを目的として平成28年7月より「熊本地震語り部事業」をスタートしました。
地域住民が語り部となり、行政の視察や企業・学校研修などの受け入れを行っています。

【　参加団体数　90　　／　参加者数　2,491名　(R6.2現在)　】

語り部講演スタイル

語り部ガイドスタイル

1-7 熊本地震語り部・道の駅阿蘇視察事業

ASO田園空間博物館の誕生から「道の駅阿蘇」の取り組み、阿蘇地域の貴重な地域資源である草原（牧野）を若年層にも理解してもらい、草原維持に対する担い手となるよう牧野ガイド事業の視察を受け入れております。

海外からのご視察団体も受け付けております。

九州地方環境事務所の皆さま

韓国慶尚北道漆谷郡から来日

1-8 ASO周遊推進支援事業

平成27年度より、「ASO周遊推進支援事業」としてサイクリストの周遊をサポートする取り組みを行っています。
事業内「バイクラック設置事業」では、希望するサテライトや協力店舗へのバイクラック設置を行っています。
平成28年度より開始した「とことん満喫！阿蘇サイクリング事業」では、無料駐車場や割引クーポン、更衣室の提供など、各種サービスを実施しています。

【　参加者数　3,412名　(R6.2現在)　】

サドルラックの設置

バイクラック設置箇所・台数

観光商業施設 設置箇所	35
サテライト 設置箇所	45

サイクリスト更衣室

1-9 牧野ガイド事業

平成30年12月より、阿蘇地域の貴重な地域資源である草原(牧野)を有効活用することで草原の魅力や価値、草原維持の必要性を伝えていく取組みを行っています。

現在は認定ガイドが「牧野トレッキング」と「牧野トレイルラン」、「牧野ライド(MTB)」の3つのプログラムを提供しています。

観光では通常立ち入ることのできないエリアをフィールドとして活用するため、非日常的な体験を楽しむことができます。

【　参加者数　1,623名　(R6.2現在)　】

牧野トレッキング

牧野トレイルラン

牧野ライド(MTB)

1-9 牧野ガイド事業

スポーツ文化ツーリズムアワード2021 スポーツツーリズム賞」受賞

スポーツ庁、文化庁および観光庁は、スポーツを通して国民の健康向上と日本文化の再発見を目指すとともに、訪日観光客の増加や、国内旅行の活性化を目的に2016年から推進している事業です。

日本最大級ともいえる、阿蘇の草原を活用した「牧野ガイド」は、普段は立ち入ることの出来ない草原（牧野）へ立ち入れるという特別感が高く評価されました。

「ジャパン・ツーリズム・アワード2023」入賞

阿蘇の牧野をアクティビティーフィールドとして活用した牧野ガイド事業と広域連携サイクルツーリズム
自然・環境を守り事業としても持続可能なスキームを考案して実績を積んでいることが評価されました。
ガイド育成プログラムは評価ポイントであり、さらなる工夫と収益性の向上を期待されています。

1-9 牧野ガイド事業

牧野ガイド事業では、認定ガイドの登録やスキルアップを目指す「牧野ガイド養成講座」(座学およびフィールドワーク)の開講や、牧野組合が行っている草原の維持・管理協力のための「牧野整備事業」を定期的に開催しています。

【連携牧野】・町古閑牧野・下荻の草牧野・西小園牧野・狩尾南山牧野

牧野ガイド養成講座(フィールド)

牧野ガイド養成講座(座学)

牧野整備事業

1-10 #asocosプロジェクト

令和2年度より、交流人口の拡大と若年層の来訪者増加につなげるため、コスプレイヤーを阿蘇へ誘致する「#asocosプロジェクト」をスタートしました。

サテライトを撮影地として設定することで、様々なロケーションでの撮影が可能となり、クオリティの高い作品作りができます。その他、阿蘇市内の宿泊施設や店舗などとも連携することで、コスプレイヤーを受け入れる体制づくりを進めています。

令和2年度は、10月に「プレ撮影会」を実施しました。コスプレイヤーにモニターとなってもらい様々な意見を頂くことで今後の事業展開につなげていきます。

1-11インバウンド誘致プログラム

令和4年度はインバウンド向けの事業として、台湾人観光客向けの旅行プランの造成を行いました。E-BIKEを使った個人向け滞在型コンテンツを造成するために台湾プロガーにE-BIKEに乗っていただき、内牧温泉や阿蘇神社など5キロ圏内程度にある食や買い物・フォトスポットを巡れるコースを実際に体験していただき、台湾向けにPRを行いました。

また、TSMC進出を受け、台湾からの観光客の増加が期待され台湾を中心としたインバウンド向けのサイクリングコースの造成に取り組んでいます。

展示販売の主な取り組み

展示販売の目的は、阿蘇の特産品の情報発信を通じて地域経済の活性化に貢献することです。
現在、約400の個人・団体・企業から商品が出展されています。

2-1 出展者研究会

2-2 新製品の開発

2-3 地元高校生との取り組み

2-4 阿蘇プレミアムコーナー 阿蘇特産品コンシェルジュ

2-5 EC事業(通信販売)

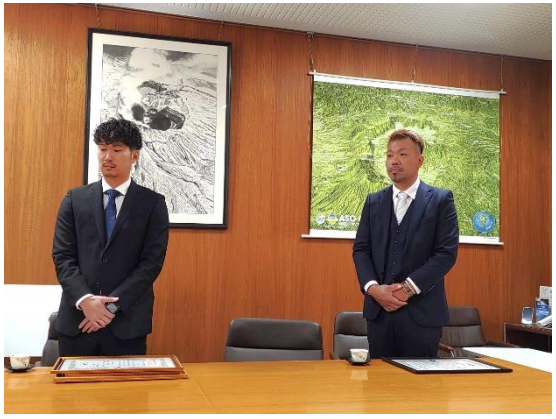
2-1 出展者研究会

平成27年度より、阿蘇の特産品の開発を促進させるため出展者が組織する研究会をサポートする事業を開始しました。それぞれの研究会で勉強会の開催、コンテストへの応募、加工品開発等に取り組んでいます。

米・食味88研究会	あか牛研究会	ひまわり(野菜作り研究会)	阿蘇産柿研究会
阿蘇産グリーンシナモン研究会	ライスイノベーション研究会	阿蘇ブランディング研究会	

【米のコンテストで受賞】

- 令和5年「第25回　米・食味分析鑑定コンクール国際大会」で中山北斗さんの「ぴかまる」が大会最高位の「国際総合部門」で金賞を受賞(道の駅阿蘇 出展会員）
- 令和5年「第17回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」で中山北斗さんの「こしひかり」がメジャー部門「最優秀金賞」、立石翼さんの「くまさんの輝き」がプレミアム部門「優秀金賞」受賞(ライスイノベーション研究会)



阿蘇市へ表敬訪問

ライスイノベーション研究会

新商品開発打ち合わせ

2-2 新製品の開発

資金、技術、販売面で新製品の開発援助を行っています。
開発された新製品は道の駅阿蘇の人気商品となることも多く、
成功事例は出展者へ報告し、他の商品の向上につなげています。

木の実の阿蘇パネトーネ

阿蘇ローズバスギフト

ブルーベリーヨーグルトパフェ

2-3 地元高校生との取り組み

平成25年度より熊本県立阿蘇中央高校と連携し、高校生があか牛や地元食材を使ったレシピを発案・プロデュースして出展者が商品化するという「あか牛プロデュース」事業を行っています。この取り組みは、高校の取り組みを生産者の商品開発へとつなげるだけでなく、阿蘇の草原再生およびあか牛の消費拡大にもつながっています。

そのほか、農業科の学生が作った農作物や加工品のPR販売も定期的に行っています。

平成25年～令和6年2月現在
販売総数　84,514個
あか牛肉使用量　4,357kg

阿蘇あか牛肉めしの素

あか牛肉のおこわ

あか牛トーストサンド

2-3 地元高校生との取り組み

令和４年度より熊本県立阿蘇中央高校との新たな取り組み、アニマルウェルフェア（AW）が始動しました。
阿蘇中央高校が取り組んでいる、飼育動物の生態に適したストレスフリーな環境での飼育方法「アニマルウェルフェア」で飼育された豚を使った新商品開発を行いました。
レシピ・パッケージを高校生に考案していただき、デザイナーとの意見交換や試食を重ね、商品を作り上げました。
商品開発、販売と携わっていただくことで教育の一貫性を持ち、商品の地域ブランドを高めています。

2-4 阿蘇プレミアムコーナー・阿蘇特産品コンシェルジュ

平成27年7月18日、道の駅阿蘇館内に「阿蘇プレミアムコーナー」が誕生しました。
このコーナーでは、阿蘇市で作られた特産品の中でも、国内外のコンクール等で高い評価を受けたものや、阿蘇にこだわってできた新製品などの細やかな情報を「阿蘇特産品コンシェルジュ」が試食を提供しながらご紹介します。
阿蘇の“食”をお楽しみいただけるコーナーです。

阿蘇プレミアムコーナー

阿蘇特産品コンシェルジュ

2-5 EC事業(通信販売)

　平成26年11月より、阿蘇の特産品のさらなる情報発信のためEC事業（通信販売）をスタートさせ、Yahoo!ショッピング(道の駅阿蘇ネットショップ)とFax受注を中心に展開しています。
　平成28年に発生した熊本地震以降、「阿蘇復興応援特産品セット」を販売し阿蘇地域の復興に貢献できる様取り組んできました。
　現在も阿蘇市内の生産者と連携した特産品セットや各種商品を販売しています。

観光案内と情報発信

道の駅に来館する多くの観光客に向けて専門スタッフが常駐で観光案内を行っています。
外国人観光客にも英語、中国語での対応が可能です。また、webを使った情報発信や大学生のインターン受入れなども積極的に行っています。

3-1 JNTO認定案内所

3-2 手ぶら観光

3-3 webを使った情報発信

3-4 阿蘇ユネスコジオパーク 世界農業遺産　PR

3-5 観光マップの製作

3-6 インターン受入れ

3-7 海外の大学との連携

3-1 JNTO認定案内所

道の駅阿蘇・ASO田園空間博物館総合案内所は、平成27年3月31日にJNTO(日本政府観光局)より「外国人案内所　カテゴリー２」に認定されました。

当法人は設立後より観光案内所常駐スタッフを置き、日本語、英語にて観光案内を行ってきました。現在は中国語を加え3ヶ国語で対応しています。

≪外国人案内所とは？≫

JNTOでは観光庁が策定した指針に基づき、外国人案内所認定制度を運用しています。そして認定された案内所間の情報交換・共有化を進め、電話通訳サービスなど支援サポートを実施するとともに外国語ウェブサイトや海外事務所を通じて外国人旅行者による利用の促進を図っています。
(認定カテゴリーは1～3まで)

カテゴリー3	常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く２以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。Wi-Fi あり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。
カテゴリー2	少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供。
カテゴリー1	常駐でなくとも何らかの方法で英語対応可能。地域の案内を提供。
パートナー施設	観光案内を専業としない施設であっても、外国人旅行者を積極的に受け入れる意欲があり、公平・中立な立場で地域の案内を提供。

3-2 手ぶら観光(Hands-Free Travel)

平成28年11月より、国交省が推進する「手ぶら観光」の認定カウンターとして登録されています。

【手ぶら観光とは】

　訪日外国人旅行者が鉄道等で大きな荷物を持ち運ぶ不便を解消するため、空港・ 駅・商業施設等で荷物の一時預かり、空港・駅・ホテルへ荷物を配送すること。

Storage Delivery
Hands-Free Travel

3-3 Webを使った情報発信

日本地域情報コンテンツ大賞2020「web部門」
「道の駅阿蘇ホームページ」最優秀賞受賞

主催：一般社団法人日本地域情報振興協会
後援：内閣府、経済産業省、農林水産省、観光庁、(公社)日本観光振興協会

＜企画概要＞
　全国各地のタウン誌やフリーペーパー及びWeb・動画が参加し、誌面クオリティや読者の支持など多彩な視点から審査し表彰するもの。
　【令和2年度審査部門エントリー媒体　紙媒体162誌、WEB47媒体、動画13媒体】

＜審査員総評＞
- ターゲットが明確であり、コンテンツが見事に道の駅ファンの心をつかんでいる。
- 英・仏語対応だけでなく、様々な目的で訪れる国内外の観光客に向け細やかな情報発信を行っている。
- 更新頻度の高さ
- 欲しい情報が入手しやすく、見ていて楽しい

3-3 Webを使った情報発信

日本語での情報発信のほか、海外に向けて英語のブログやFacebook、Twitter、Instagramなど運用しています。

この取り組みの効果として、道の駅阿蘇の外国人来館者数(観光案内窓口問合せ人数)国別ランキングでは、中国・台湾・香港などアジアが上位になっています。

訪日外国人客　国別ﾗﾝｷﾝｸﾞ 2023

	全 国 JNTO資料	道の駅阿蘇 独自調査 (窓口問合せ人数)
1位	韓国	中国
2位	台湾	台湾
3位	米国	香港
4位	香港	フランス
5位	中国	タイ

3-4 阿蘇ユネスコジオパーク・世界農業遺産のPR

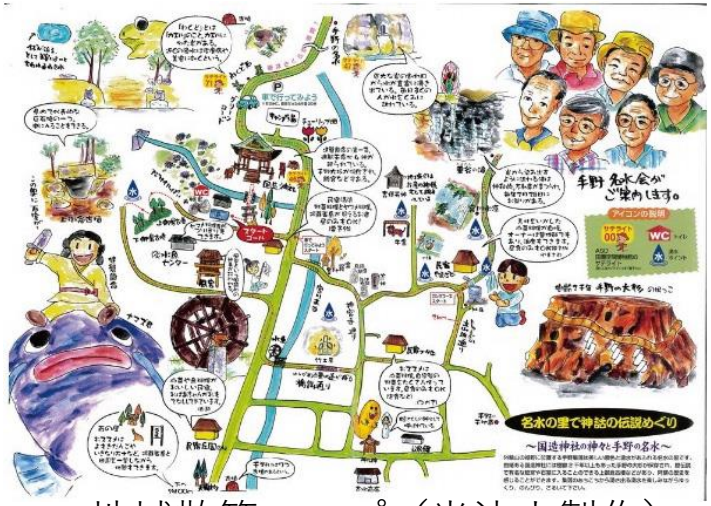
阿蘇地域で取り組んでいる「世界農業遺産」や「阿蘇ユネスコジオパーク」のPRを行っています。
「世界農業遺産」は平成25年5月に認定、「阿蘇ユネスコジオパーク」は平成26年9月に登録されました。

看板等によるPR

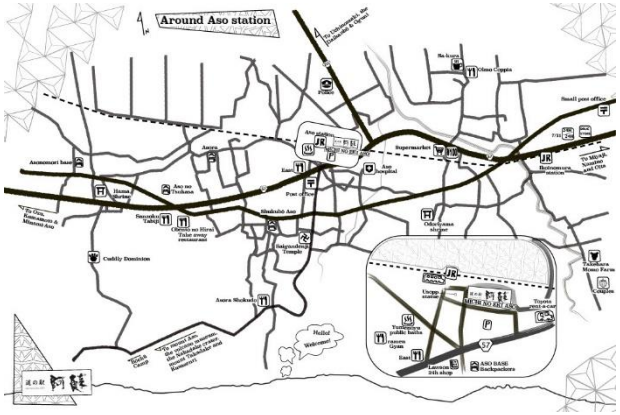
ジオパークブランド認定商品の販売

3-5 観光マップの製作

観光パンフレット設置のほか、道の駅阿蘇周辺地図などを独自に製作することで観光客の旅をサポートしています。



地域散策マップ（当法人製作）



日本語版と英語版道の駅阿蘇周辺マップ（当法人製作）

3-6 インターン受入れ

「道の駅連絡会」を通じて全国からインターンの受入れを行っています。
インターンは道の駅阿蘇展示販売業務や案内窓口業務、阿蘇市の地域振興活動に従事していただき、当法人の取り組みに対する理解を深めてもらうことに加え、阿蘇の情報発信事業でも活躍していただいております。

地元の中学生が季節の花・お勧めスポット等を取材し、日本語・英語のブログにて旬の情報を発信しています

3-7 海外の大学との連携

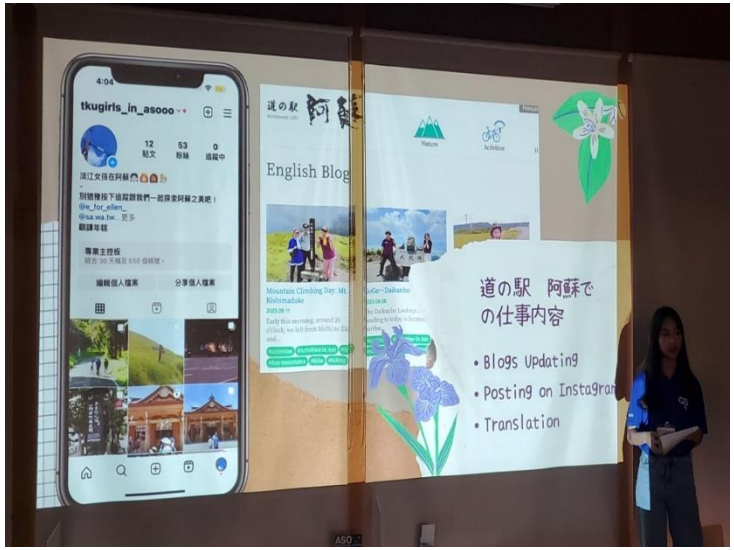
国際交流と海外への阿蘇の魅力の情報発信を目的として、平成28年度より「阿蘇ー台湾国際学生交流事業」をスタートしました。

台湾の私立大学 淡江(たんかん)大学と連携し、毎年数名の学生インターンの受入れを行っています。

受入れ期間中は道の駅阿蘇の観光案内業務に就き、様々な体験を通じて阿蘇地域への理解、関心を深め、阿蘇市のPRにつなげています。

手野地区散策イベント添乗

観光案内実習



プレゼンテーション

4-1 施設管理（景観の維持）

道の駅で快適な休息時間を過ごして頂くため、施設の管理・美化を徹底しています。
雄大な阿蘇の自然を当館でも感じて頂けるよう、道の駅駐車場内の植栽を充実させています。
地元老人会と協力することで地域と密着した道の駅づくりにも取り組んでいます。

館内休憩室

老人会の清掃作業風景

4-2 施設管理（設備の充実）

お客様により満足して頂くため、設備の充実に努めています。

駐車場

24時間トイレ・情報コーナー

多目的トイレ

こども用トイレ

受水槽(断水時も利用可)

マンホールトイレ

4-2 施設管理（設備の充実）

バイク専用駐輪場

駐輪場

バイクラック

電気自動車・電気バイク充電設備

AED設置

24時間無料給水場

4-3 施設管理（災害に備えて）

地震や水害などの災害時に対処するための備品を備えています。
また、災害時には支援物資の提供も行っています。

災害ベンダー

カセットボンベ発電機

炊き出しステーション

館内プロジェクターでの道路情報提供

防災グッズの販売

H24年の豪雨災害、H28年の熊本地震では、
支援物資の配布も行いました。